

2012年6月24日
サンケイリビング新聞社

国際コンテストで5度の金メダルを受賞
“世界一の庭師”石原和幸氏が箱庭づくりを指南
主婦向け生活情報サイト「リビング Web」で連載コラムを開始

株式会社サンケイリビング新聞社(本社所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:内堀眞澄)では、「英国チェルシー・フラワーショー」で今年5つ目の金メダルを受賞した庭園デザイナー、「石原和幸氏」の連載コラムを、2013年6月10日より「リビング Web (<http://mrs.living.jp>)」で開始しました。家庭で楽しめる箱庭づくりを、“世界一の庭師”が指南していきます。

「英国チェルシー・フラワーショー」は、世界で最も権威のある、国際ガーデン・ショーの最高峰です。そこで石原氏は、過去に3年連続金メダルの快挙、今年も含めて計5度の金メダル受賞という偉業を達成している、文字通り“世界一の庭師”です。

「小さなコンテナガーデンから始める グリーンのある暮らし」と題した連載コラムは、一流庭園デザイナーの技で、家庭で手軽に、かつ質の高いグリーンを楽しんで欲しいという思いで企画しました。第1回(URL: <http://mrs.living.jp/tokyo/home/green/359330>)では、グリーンとの付き合い方や、グリーンのある生活の素晴らしさについて、石原氏が親しみを込めて語っています。

そして第2回～第13回では、身近なアイテムを使ったコンテナガーデンの作り方を、石原氏が実演を交えて紹介していきます。

本日掲載した第2回のテーマは『【苔+さんま皿】で懐かしい「里山の風景」を作ろう』(URL: <http://mrs.living.jp/tokyo/home/green/375877>)。石原氏が幼いころに育った長崎の里山の風景を、苔を使ってさんまのお皿の上に再現しました。

今後は、「サラダボールを使った小さなウォーターガーデン」「洗いかごを使ったミニチュアジャングル」など、趣向をこらしたテーマを予定しています。

毎回、世界一流の庭園デザイナーのテクニックを家庭向けグリーンにギュッと詰め込む様子を、余すところなく伝えていきます。

《石原和幸氏プロフィール》

庭園デザイナー。1958年長崎県生まれ。22歳で生け花の本流『池坊』に入門。以来、花と緑に魅了され路上販売から店舗、そして庭造りをスタート。その後、苔を使った庭で独自の世界観が国際ガーデニングショ



緑が多い石原和幸氏の事務所にて



石原氏による作品「里山の風景」



今年の5月開催・第100回英国チェルシー・フラワーショー ガーデン部門で金メダルを受賞。

ーの最高峰である「英国チェルシー・フラワーショー」で高く評価され、2006年から異部門で史上初の3年連続金メダルを受賞した。

続いて2010年、2011年と大会の花形でもあるショーガーデン部門に出展。

2011年の作品は羽田空港第一ターミナルに再現し日本の風景の美しさをアピールした。2012年、2013年は環境に配慮した職人技と芸術性がテーマのアルチザンガーデン部門で金メダルとベストガーデン賞（部門最優秀の庭）を2年連続ダブル受賞。全国では庭と壁面緑化事業を展開し、環境保護に貢献すべく活躍中。

石原和幸デザイン研究所

<http://www.kaza-hana.jp/>

《連載コラム「小さなコンテナガーデンから始める グリーンのある暮らし」》

<http://mrs.living.jp/tokyo/home/green>

- 第1回 グリーンとの付き合い方を変えてみよう（6/10公開）
- 第2回 【苔+さんま皿】で懐かしい「里山の風景」を作ろう（6/24公開）

《「リビング Web」メディア概要》

<http://mrs.living.jp/>

●コンセプト

主婦向け生活情報紙「リビング新聞」の公式サイトとして、主婦のお役立ち情報、街をもっと楽しむための地元ネタを、情報感度と発信力が高い「地域特派員」や「ミセスブロガー」と一緒に双方向で発信します。

●アクセスデータ ※2013年6月時点

月間PV数	約5,000,000PV
月間UU数	約280,000人
メールマガジン購読数	約123,000人

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サンケイリビング新聞社
デジタルコンテンツ局 Web事業部(担当:柳澤)
TEL:03-5216-9442 FAX:03-5216-9243